



ロータリーは
機会の扉を開く

Weekly Report 2020-2021

会長：辻隆志 / 幹事：吉本委子 / 会長エレクト：低田陽介 / 副幹事：江島繁夫 / S.A.A：遠藤直樹

創 立 1969年4月14日
承 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 IT・広報委員会

今週のプログラム	第2474回	10月23日
客話「相続をめぐる最近の情勢と生命保険」香川証券株式会社 営業本部付部長兼シニアコンサルタント 福田春人様		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRクレメントホテル高松

先週のプログラム	第2473回	10月16日
職業奉仕フォーラム（堀井会員）		
担当者	職業奉仕委員会	例会場 JRクレメントホテル高松



社会長挨拶 吉本幹事報告 フォーラム：堀井会員 高松グリーンRC 新会長 濱田吉隆様・幹事 十河建志様

社会長挨拶

・昨日、ロータリー情報委員会の磯崎委員長の主催でFSMが開催されました。加藤さんを講師にお迎えし、ロータリーの基礎講座をしていただきました。その中の一部をご紹介します。「ロータリーとは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることがを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と定義されています。

また、「金銭は魔性を持っています。一度魔性に取りつかれると深みにはまってしまう、気が付いた時には、既に手遅れで元には戻れません。金銭は悪をも正当化する力を持っています。金銭に毒されてくると人が信用できなくなり、拝金主義が不信用を生んでいきます。ロータリーは金銭のために不信用を生み出すものに対し抵抗するものです。」とも書かれています。これを読んで思い出したのが、私が入会して間もない時に、牛肉偽装事件があり、その会

社は牛肉偽装により信用を無くし、倒産に追い込まれました。その時に、先輩ロータリアンから、このように信用を無くすような商売はしないようにと言われた事を思い出しました。今回、加藤さんの講演を聞き、自分の職業において、高い道徳水準を維持しなければならないと、改めて思いました。

吉本幹事報告

- ・ハイライトよねやま回覧回します。
- ・11月6日 .20日ガバナー補佐、ガバナー訪問の例会出欠表、回覧します。出来る限り出席ください。ロータリージャケット着用ください。

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

10月23日 今日は何の日	今日生まれの有名人			
上野天神祭(東京都)/電信電話記念日	1971年	矢部浩之	1940年	ペレ
1973年 江崎玲於奈ノーベル物理学賞	1956年	渡辺真知子	1849年	西園寺公望
1973年 第1次オイルショック	1955年	坂口良子	1760年	華岡青洲
誕生花	ミニバラ、花言葉は“特別の功績”			
誕生石	アメシスト(amethyst)、宝石言葉は“心の平和”			

我等の生業

我等の生業さまざまなかれど
集いて図る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)

今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのアクロバットリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2020pdf/10-23.pdf>

事務所

高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX	
職業奉仕フォーラムへのご参加ありがとうございます。	堀井
R情報FSM、加藤さんありがとうございます。	磯崎
妻の誕生日プレゼント、ありがとうございます。	サン
FSM、ありがとうございます。	辻
ご清聴ありがとうございました。	加藤
早退	2件
合計 7 件	
本日 の 合 計	27,000 円
2020-2021 年 度 累 計	425,000 円

ビジター
高松グリーンRC 濱田 吉隆 様 十河 建志 様

メイクアップ
10月13日 丸亀東RC 田中
10月14日 愛知ロータリーEクラブ 泉谷
10月15日 北海道2500ロータリーEクラブ 村上

出席報告		出席委員長：岡田和幸	
会 員 数 /	51 名	出席規準数 /	50 名
出席者数 /	27 名	欠 席 者 数 /	23 名
出 席 率 /	54.00%	ビ ジ タ ー /	2 名
最終出席率 /	10 月 2 日	52.00% →	60.00%

例会変更	
10月27日(火)	高松東RCは石清水八幡宮神明殿に変更
10月27日(火)	坂出RCは18:30湖南/夜間例会に変更
10月27日(火)	観音寺東RCは18:30に変更
10月28日(水)	高松南RCは18:30新会員歓迎夜間例会に変更
10月28日(水)	普通寺RCは10月21日(水)職場訪問例会/多度津商工会議所に変更
10月29日(木)	観音寺RCは観音寺グランドホテルに変更
10月30日(金)	高松西RCは休会

2020-2021 年度 理事会報告	
日 時	2020 年 10 月 16 日 (金)
場 所	J R ホテルクレメント高松例会場
出席者	田中、堀井、金光、住谷、松下、遠藤、低田、辻、吉本、島谷
議 題	・社会奉仕委員長の松下幸司さんより議題。 NPO未来 ISSEYへの支援。香川大学医学部の中の小児病棟にポケット Wi-Fi2 年間使用分を支援について話し合いました。

会員寄稿
もう一つのコロナ紛争
須田 恵一郎
<p>1月15日正月気分が抜けるか抜けないかのこの日、初めての新型コロナウイルス感染者が出た。この日から自粛と言う言葉が乱れ飛び三カ月たった頃から段階的に、そして4月16日に全都道府県に対し『緊急事態宣言』が発令された。約3か月間、自粛要請が解除されるまで被害の大小や我慢の限界には差が有るものの皆が、それぞれに我慢し自粛してきた。全国的に平等な自粛要請だからこそ、その効果は絶大で収束の気配すら感じられるところまで来た。そして、県をまたぐ移動の自粛が解除され、それまで自粛を余儀なくされていた人達が動き出した。</p> <p>しかし都道府県毎の自粛要請は未だに続いている。しかも都道府県ごとの自粛要請は統一感が無く強制力もない、それに加え働く環境下での自粛要請は組織ごとに様々で、個人に対する不平等さが顕著に表れて来た様に思える。一人の自粛が二人へ影響し4人に影響し8人に影響するという、まさにネズミ算式に社会に影響を与える事を理解した上で自粛を続けるか、社会的な影響を緩和すべく自粛をやめるか、個人に委ねられた決断の時である。</p> <p>そして人の移動が活発になり第二波が騒がれ始めた頃、私の知人の二家族で紛争が勃発した。この二家族に共通する紛争の原因は結婚式と披露宴である。一人は兵庫県で7月吉日に家族だけの結婚式と会食を、もう一人は9月吉日に高松市で70名の招待客の中、結婚式と披露宴を執り行った。兵庫県で結婚式を挙げたのは知人の長女で、家族だけなら大丈夫だろう、家族だけには祝って欲しいと考えた末の結婚式だった。しかし、知人は高松市在住であったが、教師をしている次女については、某委員会からの自粛要請もあり、県外への移動は無理だとの判断により、次女は参加しなかったと言う。(会場は兵庫県だったが、新郎新婦とその家族は大阪府在住だったことも判断材料だったと聞いている)それから2か月経った今でも姉妹は口も利かないと言う。高松市で結婚式と披露宴を執り行った知人については、知人の長男によると高松市は大丈夫だと考え、披露宴会場も衝立で仕切った中での会食で3密を回避した新しい披露宴を考えて執り行った。しかし次男と親戚が東京在住者だった。特に「東京から来ました」と紹介はしていなかったが、他の親戚や新郎の友人は皆知っていたと言う。この二組の知人は未だに悩みを抱えている。一人は不仲になった姉妹について、一人は参列して頂いた知人友人の体調について。本来なら一生の楽しい思い出になるはずが……。「こんな思いをするなら嫌われてでも止めておけばよかった」とさえ思う事が有ると言う。第三者的に言うなら「今の時期にやったら駄目やろう」と言いたいところだが、二人の顔を見るとそれも言えずに躊躇ってしまう。両親の決断、兄弟・姉妹の決断に良し悪しは判断できないが、この家族の苦渋も地方から組織、そして個人へと判断を委ねた優柔不断なコロナ対策の結果起こった、もう一つのコロナ紛争ではないだろうか。</p>

次週のプログラム	第 2475 回	11 月 6 日
高関忠三ガバナー補佐訪問例会		
担当者	会長・幹事	例会場 JRクレメントホテル高松